

Androidアプリの脆弱性診断は必須です!!



意外に多いAndroidアプリの脆弱性関連報告

2015年にIPAに報告されたAndroidに関連する脆弱性関連報告件数は163件※でした。
以下のような著名な企業がリリースしたアプリにも脆弱性が報告されています。

ID	報告された問題	公表日
JVNDB-2015-000016	Android 版 スマホ通帳における情報管理不備の脆弱性	2015/02/13
JVNDB-2015-000049	Android 版アプリ「レストランカラオケ・シダックス」におけるSSLサーバ証明書の検証不備の脆弱性	2015/04/03
JVNDB-2015-000065	Android 版アプリ「Honda Moto LINC」におけるSSLサーバ証明書の検証不備の脆弱性	2015/05/15
JVNDB-2015-000110	Android 版「ヨドバシ」において任意のJavaのメソッドが実行される脆弱性	2015/08/07
JVNDB-2015-000164	スマートフォンアプリ「ANA」におけるSSLサーバ証明書の検証不備の脆弱性	2015/10/28

※<http://jvnadb.jvn.jp/> より (2015/12/28 時点。弊社集計値)

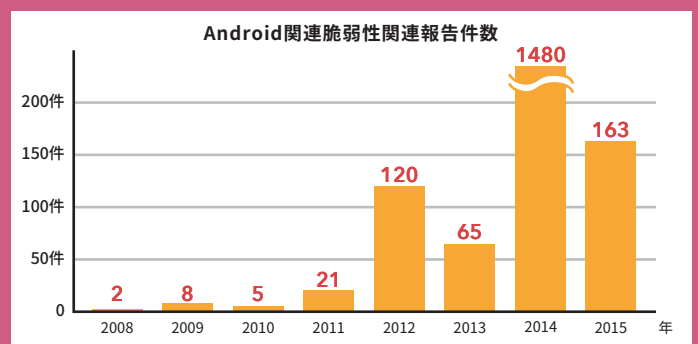
出典：JVN iPedia 脆弱性対策データベース <http://jvnadb.jvn.jp/> より

脆弱性関連報告が減らない理由

報告されている問題のほとんどは、Androidの仕様や特性を知っていれば簡単に防げるものですが、2008年の初報告以来、脆弱性関連報告の件数は減っていません。

大きな理由として、Androidに関する知識不足が挙げられます。具体的には、以下のような点に留意してアプリを開発している技術者・ベンダーは非常に少ないと思われます。

- ✓ Androidには固有の仕様や特性があり、知識がない技術者ではアプリを正しく設計できない。
- ✓ Androidはバージョンアップの度に大きな仕様変更が行われることが多く、今まで正しかった設計、実装が推奨されなくなることがある。
- ✓ Androidが持つ脆弱性に対し、アプリ側の実装で回避することが必要な場合がある。
- ✓ 他人(他社)が作成したライブラリをアプリに組み込んで利用する開発スタイルが普及している。ライブラリに脆弱性があったとしても、開発者が気づくことは不可能。



進化を続けるAndroid OSの最新仕様に追随しつつ安全なアプリを提供するには、技術者の知識や経験に頼った脆弱性対策だけでは限界があります。
アプリ全体を網羅的に診断する仕組みが必要です。



RiskFinderがおすすめです!

RiskFinderはAndroid固有の仕様に特化した脆弱性診断を行うWEBサービスです。
簡単な操作で短時間に診断が可能です!



RiskFinderはこんなシーンでのご利用がおすすめです

開発者



アプリ開発時の品質担保

開発技術者のレベルに左右されない安定した品質のアプリが作成できます。

発注者



開発委託したアプリの検査

専門知識が無い発注者でも、開発委託先から納品されたアプリの検査をすることができます。

テスト担当者



テスト業務支援

短時間でアプリ全体をもれなく検査できるので、テスト業務の効率化と品質向上が可能です。

課金形式・利用形態

課金形式

RiskFinderの利用方法には以下の2タイプの課金形式があります。初回契約時にどちらかの形式のチケットを1年間の予想使用回数にあわせてご購入ください。チケットの有効期限は1年間となります。利用形態のご契約も必要です。

検査回数課金

検査1回単位に課金が発生する形式です。
検査対象、または検査回数の大きな増減が見込まれる場合に向いています。
(多数のアプリを頻繁に検査するような場合は、ご相談ください。)

1 回

50,000円

アプリケーション単位課金

検査対象となるアプリケーションに対して課金が発生する形式です。
検査期間(初回検査から30日間)中は検査回数の制限はありません。
検査回数が多く、かつ検査対象アプリの本数が少ない場合に向いています。

1 本 (30日間有効)

100,000円

利用形態

RiskFinderには以下の3タイプのご利用形態があります。いずれかをお選びいただき、検査使用回数にあわせたチケットもご購入ください。

	おすすめ パブリッククラウド	プライベートクラウド	オンプレミス
初期費(初年度のみ)	100,000 円	200,000 円	500,000 円
アカウント維持費(2年目以降)	70,000 円	140,000 円	350,000 円
サーバ	クラウド上のサーバを複数のお客様で共有していただく形式です。	お客様専用のサーバをクラウド上に構築し利用していただく形式です。	お客様が所有するネットワーク上にサーバを構築して利用していただく形式です。
サーバ構築費用	—	お見積り	お見積り

ご購入例 1 パブリッククラウドを利用して、3アプリケーションの場合

初 年 度:100,000円(初期費)+3(アプリケーション)×100,000円(30日間有効)=**400,000円**
2年目以降:70,000円(アカウント維持費)+3(アプリケーション)×100,000円(30日間有効)=**370,000円**

ご購入例 2 プライベートクラウドを利用して、検査10回の場合

初 年 度:200,000円(初期費)+10(回)×50,000円(1年間有効)=**700,000円**
2年目以降:140,000円(アカウント維持費)+10(回)×50,000円(1年間有効)=**640,000円**

▲ 表示価格は全て税抜価格です。

トライアルでの使用も承っております。
お客様の運用形態に合わせてRiskFinderをカスタマイズすることも可能です。
課金形式についても運用に合わせて柔軟に調整させていただきます。
お気軽にご相談ください。



お申し込み・お問い合わせ



RiskFinder についての詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.riskfinder.co.jp/>



RiskFinder リスクファインダー株式会社

〒110-0015 東京都台東区上野 2-1-1 フリーアネックスビル8F

☎080-8873-8243 (代表) ✉info@riskfinder.co.jp

AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。Android Robotは、Googleが作成、提供しているコンテンツをベースに変更し、クリエイティブ・コモンズの表示3.0ライセンスに記載の条件に従って使用しています。